



春日井ロータリークラブ

2021-22 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「ロータリアンとしての誇りを持ち、出でて奉仕を！」



会 長：成瀬 浩康
 副 会 長：中川 健
 副 会 長：小川 茂徳
 幹 事：大原 泰昭
 会報委員長：下田 育雄

事務局：春日井市鳥居松町 5-45
 T E L : 0568-81-8498
 F A X : 0568-82-0265
 E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp
 H P : https://www.kasugai-rc.jp
 例会場：ホテルプラザ勝川



本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| ・点鐘 | 会長 | 成瀬 浩康君 |
| ・国歌 | 「君が代」 | |
| ・ROTARY SONG | 「日も風も星も」 | |
| ・ビジター紹介 | 会長 | 成瀬 浩康君 |
| ・米山奨学生 | | 願 彬楠様 |
| ・米山奨学金授与 | | |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | 会長 | 成瀬 浩康君 |
| ・卓話 | 米山奨学生 | 願 彬楠様 |
| ・幹事報告 | 幹事 | 大原 泰昭君 |
| ・点鐘 | 会長 | 成瀬 浩康君 |

先週の記録

幹事報告

大原 泰昭君

- ・第一生命保険(株)名古屋東支社の廣田 誠君の入会が承認されました。
- ・11月6日・7日に開催される地区大会の7日・二日目の全体会議への出席の件です。理事役員、入会3年度未満の会員を対象者として出欠確認をしましたが、全会員に出席要請のある大会ですので、ご都合の良い方は是非ご参加ください。参加可能な方は事務局まで連絡をお願いします。
- ・9月24日(金)は祝日の振替え休会となります。
- ・次回例会10月1日(金)はホテルプラザ勝川での通常例会での開催となります。
zoomでの配信も実施します。
- ・10月1日(金)11:15より第4回理事会を

2021年10月1日(金)2489回(10月第1例会)

開催します。

議案提出は9月28日(火)までに事務局へ提出願います。

出席報告

委員長 廣瀬 清司君

会員 52名	出席 30名	出席率 60.0%
先々週の修正出席	出席 52名	出席率 100.0%

ニコボックス報告

委員長 野間 峰彦君

- 祝福の皆さんおめでとうございませう。若草学園加藤園長先生、本日の卓話楽しみにしています。 成瀬 浩康君
- 誕生日の祝福ありがとうございます。 大原 泰昭君
- 本日の卓話楽しみにしています。 中川 健君
- 先日のフォーラムでの報告者のお話をお聞きし、改めて4つのテストや日々の仕事を振り返るとても良い機会となりました。ありがとうございます。 藤川 誠二君
- 例会設営ご苦労様です。 古屋 義夫君
- 祝福を受けられる皆様、おめでとうございませう！ 川瀬 治通君
- 春日井RCはハイブリット例会の青山 博徳君
パイオニア！地区出向者としても鼻が高いです。スタッフに感謝！
- 本日の加藤園長の卓話を楽しみにしております。 伊藤 正之君 梅村 守君 風岡 明憲君
近藤 太門君 菱川 一馬君 廣瀬 清司君
三上 努君 村瀬 昌史君
- ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

地域社会の経済発展月間/米山月間

例会予定	10月8日(金)	10月15日(金)	10月22日(金)	10月29日(金)
	例会 12:30~13:30	例会 12:30~13:30		例会 12:30~13:30
	卓話 大和ハウス工業(株)	・祝福	休会	クラブフォーラム
	SC 事業部 SC 事業推進室	・卓話 長谷川智幸君		社会奉仕委員会
	室長 村田 順様			

卓話 若草学園 園長 加藤 圭一様

社会福祉法人 若草学園 障害児入所施設 若草学園で施設長をしております、加藤と申します。

本日は、下田さんにお招きを頂きましたので、我々の施設の紹介や役割をお伝えする機会とさせていただきます。

私どもの施設は、昭和29年に創立し、今年で67年目となります。当初は定員が20名であったところ、翌30年に30名に増員。40年に、社会福祉法人の認可を取得し、49年には定員を50名に増やし、現在に至ります。

また、平成24年に耐震化の建て替え工事を行い、今の建物になりました。

現在は、小学1年生から高校3年生のお子さん45名が一緒に暮らしており、どのお子さんにも知的な障害があります。

入所の主な理由としては、保護者等からの虐待が大半となりますが、DVなど暴力を伴う行為よりも、無視や放置などいわゆるネグレクトケースが目立ちます。また、保護者の方々にも知的な障害があったり、精神的に弱っておられたりと、お子さんの養育に向き合えないケースも多くあります。

養育環境の影響は大きいもので、能力的には比較的高くても、適切な養育を受けられなかった結果、身の回りのことが出来ない(知らない)お子さんも多いです。また、他人との関わりが希薄だった場合には、他とのコミュニケーションがうまくとれず、自己中心的な振る舞いで周りが迷惑を感じるケースも少なくありません。

我々の施設は、障害児入所施設であり、子どもの施設となります。

児童福祉法に従い入所の期間は18歳までが前提となるため、お子さんの人生と照らし合わせれば、一部の通過点にしかすぎません。そのため、お子さんが入所された際には、そのお子さんの18歳以降の姿を想像し、その時にどういう生活をおくることが適切か、またその際には、どういう課題が発生するかなどを考慮し、支援の計画や実施を行っております。

そのため当施設では、障害の強度に応じた3クラスを編成し、それぞれに目標を掲げ、能力に合った支援を提供しております。

クラス編成と目標

A組 障害が重く、介護度が高い。18歳以降には入所型の施設利用が望ましい。

目標 基本的には現状の能力を維持し、日々穏やかに生活をする。

B組 能力的には比較的高いお子さんも多いが、基本的な生活習慣が身につけていなかったり、周りとの交流が不得意であったりする。18歳以降は、福祉型就労が可能であり、グループホーム(以下GH)などで生活が期待できる。

目標 生活の基礎となる基本的な生活習慣や、ルールを日々の生活を通じて学ぶ。

C組 基本的な生活習慣は習得済。18歳以降は1人暮らしや、一般企業での就職も視野に入る。

目標 就労を目指し、人間関係に必要なコミュニケーションを身に付け、社会性を向上させる。

能力に応じた支援をすることで、そのお子さんに必要な支援ができると考えています。

また、他の機関(児相、学校、市町村福祉課、相談支援事業所等)とも連携を行い、当施設退園後の住まう場所や就職先を含む日中の活動の場所を選定していきます。

まず、中学を卒業するころに関係の機関が集まり、お子さんの進路について、大まかな方針を決めていきます。その後、高等部進学後に本格的な調整に入り、一人のお子さんにつき、5~10回ほどの会議を繰り返すこととなります。

先にも述べた通り、我々の施設は通過点にしか過ぎません。退園後の生活の方がずっと長いものになるため、そこに滞りが出ないように住まう場所の確保(入所型の施設や、GH)、日中の活動の場所を決定(就職先や日中活動支援事業の利用)、福祉サービスの申請(生活保護の受給や支援区分の判定など)を調整しつつ、本人や保護者の意向を踏まえ定めていきます。

退園をしたお子さん、特にA型作業所や一般の企業に就職したお子さんたちは誰一人途中で仕事を辞めることなく続けてくれていることは、我々の支援の仕方が大きく間違っていない証拠であると考えております。

これらの経験を活かし、支援の必要なお子さんにとってより良い場所であるように努めて参ります。

本日は、ありがとうございました。



会長挨拶 成瀬 浩康君



委員会報告 R情報・R研修委員会 委員長
川瀬 治通君



卓話 若草学園 園長 加藤 圭一様



エレクトーン演奏 太田 英美さん



委員会報告 出席委員会 廣瀬 清司君



幹事報告 幹事 大原 泰昭君



委員会報告 ニコボックス委員会 野間 峰彦君

今週の MENU

【お弁当形式】

- ・的鯛と大根のオイスター煮込み
 - ・ナムル各種
 - ・ごはん お漬物
 - ・酢豚
- ・サツマイモのポタージュスープ
 - ・デザート
 - ・コーヒー

